

さとひがし

大津市立仰木の里東小学校 学校だより No. 4

学校教育目標

☆自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子
「や」 やさしく思いやる子
「げ」 元気な子

令和2年6月23日(火)

問い合わせ先 TEL 077-574-2245

FAX 077-574-2247

6月22日(月)より給食再開!

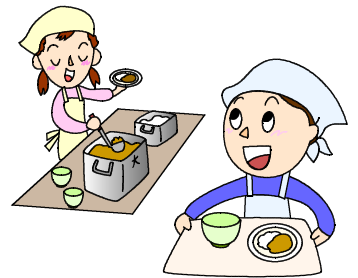
いよいよ本格的に 通常授業開始!!



熱中症に注意してください

6月1日から学校が午前中授業で再開し、最初は分散登校で5日(金)から一斉による午前中授業を行いました。8日(月)からはお弁当持ちで通常授業に戻りました。そしていよいよ22日(月)から給食が再開しました。新型コロナウイルス感染症防止に伴う臨時休校措置から明けて、児童の皆さんは久々の通常授業、友だちとの再開を喜び合いながらも、日々の感染症対策をしっかりと取りながら学校生活を楽しくしている姿が見られます。しかし油断はできません。完全に元に戻るまではまだまだ時間がかかりそうですが、休校中の授業内容を取り返すべく、熱心に学習に取り組んでくれており、大変嬉しく思います。一日も早く正常に戻り、快適な学校生活が送れることを心より期待しています。

さて、6月に入り、朝夕は涼しいですが、昼間は30度以上の日が多く続く予想されています。梅雨の季節の気候は蒸し暑かったり、じめじめとしたりして、汗をかいたときなどの体温調節等、過ごしにくい環境になります。合わせて、暑い夏に向けて、くれぐれも熱中症にならないように対策を行い、体調コントロールをしっかりと行いましょう。



★普段は保健室ボランティアに来ていただいている保護者の方々が、低学年の給食支援ボランティアを買って出てくださいました。とてもありがたいことです。

授業に集中するために

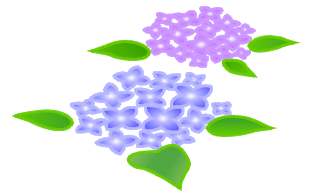


感染症予防として、教室の壁をオープンスペースいっぱい移動させ(広い特別教室を利用するクラスもあります)、座席の間隔をとっていましたが、学習活動中に隣の教室の音や声が漏れたてきたり、廊下がなくなった分、人が通ると気が散ってしまうなどの弊害も出てきました。授業が再開して3週間の状況を相談し、教室の壁を元に戻すことにしました。もちろん教室内の感染症対策はしっかりと行い、マスクの着用、座席の間隔、学習活動での工夫、換気、手洗いの徹底を指導しています。

教室の壁を元通りに戻しました。
集中力アップに期待しています!



第1回幼小合同 学校運営協議会を開催



6月19日(金)の午後から、休校措置の影響でひと月遅れで学校運営協議会を開催しました。自治連合会、青少年育成学区民会議、民生委員児童委員協議会、交通安全協会、主任児童委員の各地域代表者の方々と、本校PTA会長、幼稚園長の8名で学校運営協議会委員を構成しています。最初に各委員の皆様には任命証を手交し、仰木の里東幼稚園、仰木の里東小学校の様子について情報交流をしました。

続いて令和2年度の提言として、①「温もりのあるあいさつの推進」、②「地域ボランティアの立ち上げ」について熟議を行いました。

- ① 学校だけでなく地域を巻きこんで「温もりのあるあいさつ」ができるように取り組んでいきたい。
- ② しっかりとした目的を持ち、開かれた学校、地域の特性を生かした持続性のある取り組みが大切。
 - ・ボランティアについては、クラブ活動的な繋がりのある仕組み作りが必要。地域で多彩な方々や特定のスキルをお持ちの方々の参画を期待したい。
 - ・すでに活動いただいている保健室ボランティアによる、低学年の給食支援の申し出をいただいている。幼稚園でボランティアの経験をされた保護者が引き続き小学校への支援に結び付いている。
 - ・学習支援ボランティアでは、地元の大学生(成安大、大谷大などへも声かけ)への要請をする。
 - ・スクール農園の充実に向け、地域のエディブル・スクールヤードプロジェクトと交流する。



☆今後、幼稚園・小学校への地域からの支援体制としてどのように展開していくか、考え方の共通理解を学校運営協議会として図っていきたい。

★地域として様々なイベントや取り組みや会議が中止となる中で、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した地域の防災訓練は必要であり、今後具体的な検討をすすめていきたい。

ケガの防止!! 6月は1年間で最も危険!?

落ち着いた生活を目指して



6月に入ってからケガが多発しています。ほぼ毎日ケガをした人が保健室に来ています。先週からは特に頭部のケガが多発し、緊急に病院へ直行しなければならなかったケースが発生しています。原因は、外遊びではブランコなどの遊具から落下した後頭部を打ったり、室内では走っていて人をよけきれずにぶつかってしまい、その反動で床で頭を打ったり、教室の机の角で頭をぶつけてケガをするケースです。このままでは、いつか大けがをして救急車に乗らなければならない人が出てきそうで大変心配しています。

多くは注意すれば防げるはずです!

毎年6月の梅雨のシーズンはケガやケンカなどが多発する月です。気候の影響を受けて、イライラしたり落ち着かない気持ちになりがちです。特に今年はコロナの影響で、4月、5月が休校となり、過ごしにくい6月からの始まりとなっており、いつもの年の6月よりもかなりケガが多いです。ひとり一人がこのことをわかった上で、どうすれば安全に楽しく学校生活を送れるのかを考えてほしいと思います。原則として首から上のケガをした場合、すぐに病院に行って診察してもらおうことになっています。誰もケガをして救急車には乗りたくはないですね!



◎放送を確実に聞き取ってください

児童の皆さんの安全のため、よく放送で連絡することがあります。遊んでいても、放送が聞こえだしたらすぐに活動を止めて、放送内容をしっかり聞いて、確実に理解するように心がけてください。

◎担任の先生からの注意をしっかり守ってください。

担任の先生を中心に、危険な遊びをしないことや、一番気をつけなければならないことなどを連絡してもらっています。命にかかわる大切な連絡もあります。聞きもらさないようにしてください。

◎高学年の皆さんの良いお手本を見習ってください

高学年の人が低学年人のお世話をしてくれたり、一緒に遊んでくれたり、掃除のお手伝いをしながら、立派なお手本を見せてくれている場面を見かけます。良いお手本を見習い、楽しい学校生活を過ごしましょう。

◆地域からのお知らせ◆

*7月19日(日)に予定の「子どもフェスタ」は今年度中止が決定されました。